

2023年7月4日
イオンビッグ株式会社

「イオン ハートフル・ボランティア」 7月2日（日）滋賀県 琵琶湖湖岸の清掃活動を実施いたしました

イオンビッグ株式会社（本社：愛知県名古屋市／代表取締役社長：小林健太郎）は、7月2日（日）、「イオン ハートフル・ボランティア」の一環として、滋賀県草津市琵琶湖湖岸の清掃活動を行いましたので報告いたします。

イオンは、新しい社会貢献活動の取り組みとして、これまで以上に従業員が地域に根ざした活動を労使一体となって推進する「イオン ハートフル・ボランティア」を2022年度よりスタートしました。

当社では、滋賀県が制定する「びわ湖の日（7月1日）」の活動に参加させていただき、滋賀県内の店舗勤務者を含む本年度新入社員が中心となり、琵琶湖湖岸の清掃活動を行いました。

イオンビッグは、今回の活動を通してごみを減らすために一人ひとりができることを考え、今後も環境に配慮した行動に積極的に取り組んでまいります。

<清掃活動の様子>



記

■ 琵琶湖畔清掃活動 概要

1. 日時 2023年7月2日（日）
2. 場所 琵琶湖湖岸（滋賀県草津市）
3. 参加 イオンビッグ株式会社 従業員約50名（2023年度新入社員40名を含む）

■「イオン ハートフル・ボランティア」について



イオンは、新しい社会貢献活動の取り組みとして「イオン ハートフル・ボランティア」を2022年度よりスタートし、それぞれの地域に存在する社会課題の解決へ向けて、イオンの従業員が地域のステークホルダーの皆さまと共に、地域に根ざした継続的なボランティア活動を推進しています。

イオンは、1991年から従業員がボランティアで店舗及びその付近を清掃する「クリーン&グリーン活動」をスタート。2001年からは、毎月11日を「イオン・デー」と定め、地域でサポートを必要としているボランティア団体さまを応援する「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」など、さまざまな社会貢献活動を継続しています。

また、2012年から10年間の東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」など、従業員自らがその被災地に入る災害復興支援にも数多く携わってまいりました。

今日、気候変動や資源の枯渇などの環境課題、少子高齢化による労働力人口の減少、地域コミュニティの衰退といった社会課題など、かつてないほどのスピードで様々な課題が広がりを見せています。その中で、イオンは、従来までの社会貢献の取り組みを更にブラッシュアップし、それぞれの事業活動を行う地域で、持続可能な地域社会の実現に向け、従業員自らが地域の社会課題解決を支援する「イオン ハートフル・ボランティア」を推進してまいります。

以 上